

# 事業所における自己評価結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：2021(R3)年 3月 1日

事業所名：スクラム

領域	番号	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点や改善へ向けての手立て
			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	活動の拠点を分けたりグループ分けをしたりして場所を確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	職員採用へ向け、募集を行っている他、アルバイトやボランティア確保を積極的に実施。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	視覚障害及び肢体不自由の利用者はいないが、出入口はスロープがある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	運営と実践目標を立て、中期と総括評価を法人理事会にて報告し、指導を受けている。支援計画の初期・中期・修了評価などの際、目標設定の理由や手立て、達成の評価基準や具体的な姿、新たな目標設定に至る経緯など細かに検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎年、評価の結果を公表し、それに基づいた年間計画やその内容等について、保護者に周知し同意を得ながら進め、結果を運営や実践目標に反映させている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎年月報やホームページに評価結果を公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎年1月に外部評価委員会を設定し、地域代表、学校関係者、有識者の3名の委員を招聘し指導を受けている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	積極的に職員の資質・スキル等の向上を図ろうと週1回の個人研修や月1回の職員研修を確保したり、各種研修の受講を行ったりしている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	フェイスシート、年齢別の領域別チェックリスト、2種のアセスメントシート、年齢別の支援計画作成へ向けての課題・目標の整理シートからなる、本事業所独自のスクラムプランを用意し、活用している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	法人の心理士による発達相談の際に、新版K式発達検査やWISCIV知能検査等を実施。上記のスクラムプランという施設独自のアセスメントツールも活用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	週初めや月初めに活動予定を話し合い、日々の活動計画についても毎日打ち合わせを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	季節や行事、日常の変化に応じて活動を計画。支援学級在籍児の多いグループの活動については子ども主体の活動を組んでいる。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	全員のニーズや課題に応じた活動設定は難しいものの、事前に計画を話し合い、個々に応じるよう考慮している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	計画立案や事前の話し合いの中で計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事前に常勤・非常勤交えた打ち合わせを行い、確認している。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後に打ち合わせは難しい部分もあるが、ケースを書く際や子どもたちが帰ってから少人数で今日の様子を話すことはある。翌朝のミーティングでは必ず実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々行っており、検証・改善につながっている。
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年に3～4回のモニタリングの機会があり、適宜、見直しに取り組んでいる。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		活動計画作成時などにも基本活動等を参考にしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		なるべく各種活動で利用者と一緒にいる機会の多いスタッフが参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		常時行われている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		当施設には医療的ケアが必要な利用者への対応は現在のところ、施設設備・職員体制面から不可能であるが、受け入れる場合は主治医等と緊密な連携は必須です。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		法人内からの受け入れについては情報共有は十分にできている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		法人内事業所や他の事業所等とも連携している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		特別支援教育や発達心理、療育などの専門機関とは連携を取り進めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		公園にて地域の子どもたちがいる場合、なるべく交流できるように遊びを展開しているが、コロナ禍もあり、制限した。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		身近な地域の福祉関係者とは常につながりを持ち連携している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		お迎えの際や行事等では話をするようにしており、会報等には利用児の様子や親支援策の記事等を掲載している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		月報への連載や保護者学習会などでペアレント・トレーニングについて学習を深めている。
保護	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		毎年、保護者オリエンテーションを開催し説明しているが、今年度はコロナ禍の状況にて、書面にて、承諾を得ている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談に対しては必ず対応し、できる限りの助言等をしている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者の活動への参加や学習会を開き、保護者同士が連携しやすい環境づくりを設定している。

者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		いつでも対応できるようにしており、全職員で検討し速やかに対応できるようにしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		○スクラム通信(月に1回発行)で、子どもたちの活動の様子や子育てについてのアドバイスなどを発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		ホームページのリニューアルを契機に、再度一斉に個人情報の取り扱いについて、全員にアンケートを取り、再確認を行った。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		各種コミュニケーションカードや具体物・半具体物等々を活用し配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度はコロナの影響もあり、秋祭りや芋掘り・餅つき交流会など地域の方や他事業所の利用児など交流・招待できなかった。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		地震・火災・落雷・不審者・防犯・事件・事故・台風・大雨・感染症・新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを整備し各種訓練や感染症による嘔吐への対応など取り組んでいる。保護者への周知は1月を予定。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震や火災を想定した訓練を実施しているが、その他の訓練も随時行っていく予定。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止や人権擁護等について毎年、法人全体研修を実施して理解を深めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束については職員研修や職員会議にて、協議し、保護者に対しては身体拘束についての説明と同意書を作成し取り組んでいる。計画への記載をしていく予定。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用児全員のアレルギー、発作、服薬等の一覧を作成し、職員で共通理解を図り、対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例集として、代表的な事例をまとめたり、新たな事案について事例集の中に入れてたりして全職員に配布し、ファイルに綴じ共有している。